

## 国内総生産

国内総生産とは、一定期間内に一国内で産出された財サービスのうち、同一期間内に生産に投入され使いつくされた財サービスを除いた残りを、市場価格で評価した価値額の総計である。それは最終生産物の価値の総計であり、付加価値の総計に等しい。

### I. 生産額を確定する範囲

- A. 一定期間内（通常 1 年）— フロー量，ストック量の区別に注意：
- フロー量：一定期間あたりの値として測られる量（生産量，所得など）
  - ストック量：一時点の値として測られる量（資本ストック，貨幣流通量など）
- B. 一定地域内
- 基準：国境で囲まれる一国の領土
  - さまざまな地域の総生産：一国内の一地方，特殊な経済圏（例：香港）

### II. 最終生産物 final product —— 社会的生産物 social product

- A. 中間生産物と最終生産物の対比
- 中間生産物
    - 期間内に生産されたもの（生産物）
    - 期間内に生産に投入されるもの（中間投入，中間消費）
      - 期間内に最終消費に用いられない
      - 期間末に残っていない
  - 最終生産物
    - 最終的な欲求の充足に用いられた消費者財 — 最終消費
    - 期末に残っている生産者財 — 資本形成（投資）：将来の生産の準備
      - 固定資本形成
      - 在庫増（減）
- B. 国内総生産と総支出の関係
- 閉鎖経済：最終消費支出 + 投資支出（国内総資本形成）
  - 開放経済：最終消費支出 + 投資支出（国内総資本形成）+（輸出 - 輸入）

### III. 付加価値

- 産出額と中間投入額の差
- 最終生産物の価値との関係 —— 投入産出表による説明

	I	II	III	最終生産物	産出
I	2	10	4	4	20
II	4	186	60	150	400
III	1	44	95	360	500
付加価値	13	160	341	514	
産出	20	400	500		

$$4 + 150 + 360 = 13 + 160 + 341 = 514$$

$$(\text{最終生産物の合計}) = (\text{付加価値の合計})$$

## IV. 国内総生産が含む生産の範囲

- A. 「生産」ということばの意味： 「交換を通じて他の人の欲求を充足する行為」
1. 広い定義： サービス，輸送，商業
  2. 家計内の活動を除く
- B. 国内総生産に含まれない活動
1. 地下経済（観察しにくい市場）
  2. 外部効果（専有，市場の欠如）

最近日本の GDP の推移（兆円）

暦年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
GDP	515.2	504.8	497.6	503.0	497.7	491.3	490.3	498.3	501.7	508.9

## 参考文献

教科書．第 1 章．

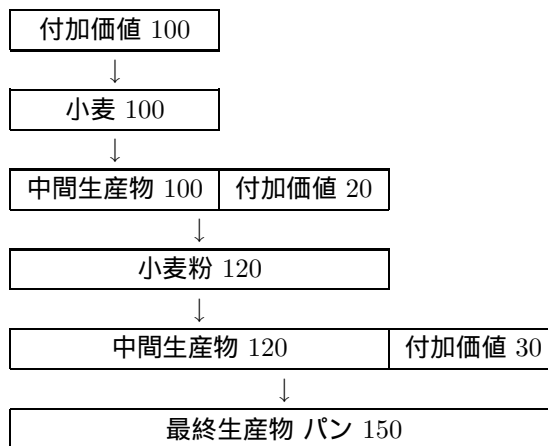
酒井正三郎訳（1972）『ヒックス 経済の社会的構造』第 4 版．東京：同文館．第 2 章．

内閣府経済社会総合研究所編（2008）『国民経済計算年報 平成 20 年版』東京：メディアランド．

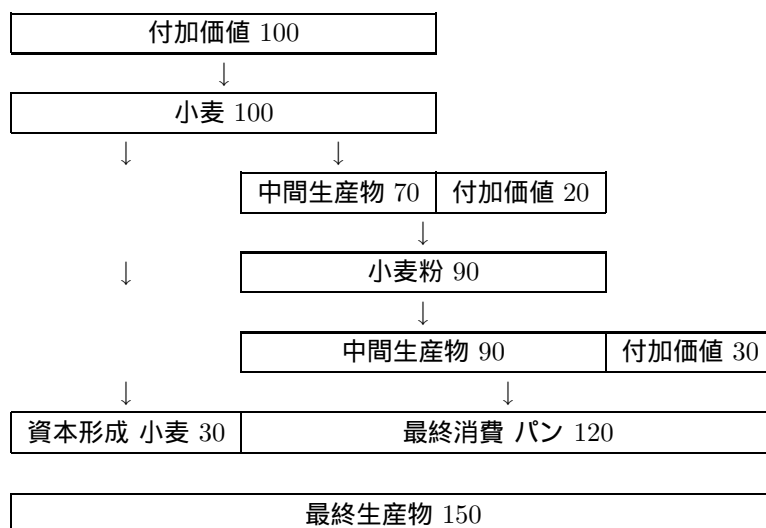
## 付 録

A. 最終生産物と中間生産物，付加価値

1. 最終生産物がすべて消費される場合



2. 最終生産物の一部が来年以降の生産のために蓄積される場合



## B. 生産物の流れと使途

使用の場	単用財, サービス	耐用財
家計	最終消費 食料 消耗品 サービス	投資 (固定資本形成) 住宅 消費者耐久財
企業	中間消費 (投入) 投資 (在庫増) 原材料 製品	投資 (固定資本形成) 建物 機械 設備

家計が行う投資のうち, 統計上, 投資に計上されるのは住宅建設のみ

## ことばの説明

- 単用財 single-use goods  
一回の使用で使い尽くされる財 (例: 食物, 燃料)
- 耐用財 durable-use goods  
繰り返して使える財 (例: 道具, 機械, 建物, 自動車)